

大雅の容疑者。いずれも住居不定。地検は3人の認否を明らかにしていない。捜査関係者によると、3人の一部は「金づちで女性の足などを殴り、手足をひも状のもので縛った後、火をつけた」といった趣旨の供述をしているという。

日本学士院賞 松村氏ら9人

日本学士院(塩野宏院長)は12日、優れた研究業績をたたえる2018年度の日本学士院賞を9人に贈ることを決めた。9、15世紀に北フランスで使われていた中世フランス語の辞典(3500頁)を独力で完成させた松村剛・東京大教授(58)と、生命活動に重要な「カルシウムポンプ」と呼ばれるたんぱく質の働きを解明した豊島近・東京大教授(63)には恩賜賞も授与する。

このほか、自然保護の基礎となる業績を対象に隔年で贈る日本学士院エンジンバラ公賞には、諏訪元・東京大総合研究博物館長(63)を選んだ。授賞式は6月、東京都内で開かれる。受賞者と対象の研究は次の通り。

【恩賜賞・日本学士院賞】
松村剛(まつむら・たけし)
東京大教授
(58) 中世フランス語・フランス文学
中世フランス

豊島近(とよしま・ちかし)
東京大教授
(63) 生物学
理学 原子構造に基づくイオンポンプ作

語辞典

【学士院エンジンバラ公賞】
諏訪元(すわ・げん)
東京大総合研究博物館長(63) 自然人類学の起源と進化
ラミダス

動機構の解明

【日本学士院賞】
三佐川亮宏(みさがわ・あきひろ)
東海大教授(57) ドイツ中世史の始まり
中世ローマ帝国とドイツ人のエトノス生成

楠岡成雄(くすおか・しげお)
東京大名誉教授(64) 数学
確率解析と数理ファイナンスの研究

丸岡啓二(まるおか・けいじ)
京都大教授(64) 有機合成化学
キラル相間移動触媒の創製

相田卓三(あいだ・たくぞう)
理化学研究所副センター長(61) 高分子化学
材料科学 革新的ソフトマテリアルの精密階層設計に関する研究

堀江武(ほりえ・たけし)
京都市大名誉教授(76) 作物学
アジア稲作に及ぼす地球温暖化の影響

長野哲雄(ながの・てつお)
東京大名誉教授(68) 薬学
ケミカルバイオロジー
蛍光特性制御原理の解明およびバイオイメージングへの応用に関する研究

清野進(せいのみち)
神戸大特命教授(69) 代謝学
インスリン分泌を制御するシグナル伝達の分子機構に関する研究

【学士院エンジンバラ公賞】
諏訪元(すわ・げん)
東京大総合研究博物館長(63) 自然人類学の起源と進化
ラミダス

猿人から現生人類へ